

「東京都区市町村別人口の予測」の主な内容

東京都では、都内の区市町村別人口について予測を行いましたので、お知らせします。

平成17年の国勢調査結果をふまえ、平成22年、27年、32年及び37年の都内の人口を、区市町村別に男女ごとに予測したものです。

都の総人口 平成22年に1290万人超え、平成27年には1300万人超に

— 東京23区（区部）、多摩・島しょ地域（市郡島部）ともに平成27年にピーク —

1 東京都の総人口 [平成27年がピーク、人口重心は南東に移動]

- 1) 東京都の総人口は平成27年にピークを迎える。ピーク時の人口は1300万人超になる。
- 2) 今からおよそ20年後の平成37年は、約1270万人になる。
- 3) 地域分布（人口の散らばり具合）について人口重心をみると、今後は南東の方向に進んでいく。

(P3図1-1、P11表1-4)

2 東京23区の総人口 [都に占める割合は7割弱、都心3区及び江東区は32年がピーク]

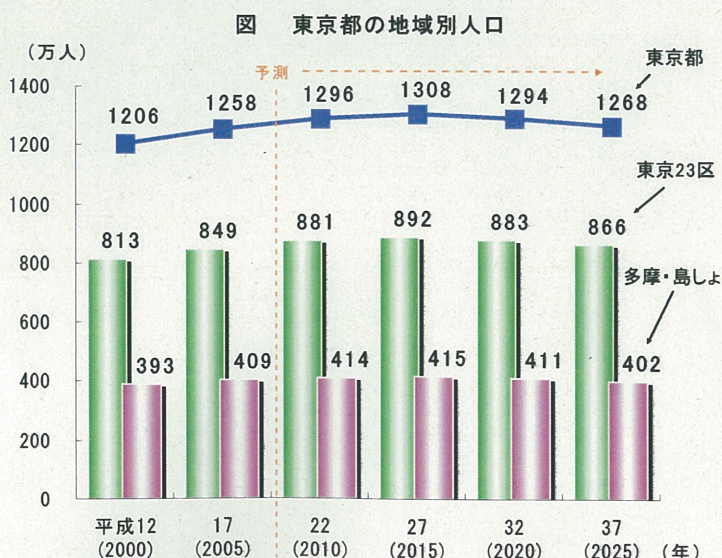
- 1) 東京23区の総人口は、ピーク時の平成27年は892万人超になる。
- 2) 東京都の人口に占める割合は、今後も7割弱（67～69%）になる。
- 3) 平成17年国勢調査で10%以上の人口増加率を示した都心3区及び江東区は、平成32年に人口のピークを迎える。

(P16図2-1、P21表2-5)

3 多摩・島しょの総人口 [ピーク時は415万人、市部の占める割合は今後も98%]

- 1) 多摩・島しょの総人口は、ピーク時の平成27年は415万人になる。
- 2) 人口の密集の度合いについて人口接近度（密集の度合いを人と人との間隔で表したもの）をみると、今後も約20mになる。なお、東京都全体のそれは約14mである。
- 3) 多摩・島しょの人口のうち、市部の占める割合は今後も98%になる。

(P26表3-2、P28表3-5)



問い合わせ先

総務局統計部調整課

統計解析係（人口予測担当）